環境省
Ministry of the Environment

生物多様性に関する取組
～主に自然共生サイトについて～

2026年８月18日

環境省自然環境計画課
地域ネイチャーポジティブ推進室
佐々木　優

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　Re-Style　COOL CHOICE　つなげよう、支えよう 森里川海　Plastics Smart

ネイチャーポジティブとは

昆明・モントリオール生物多様性枠組

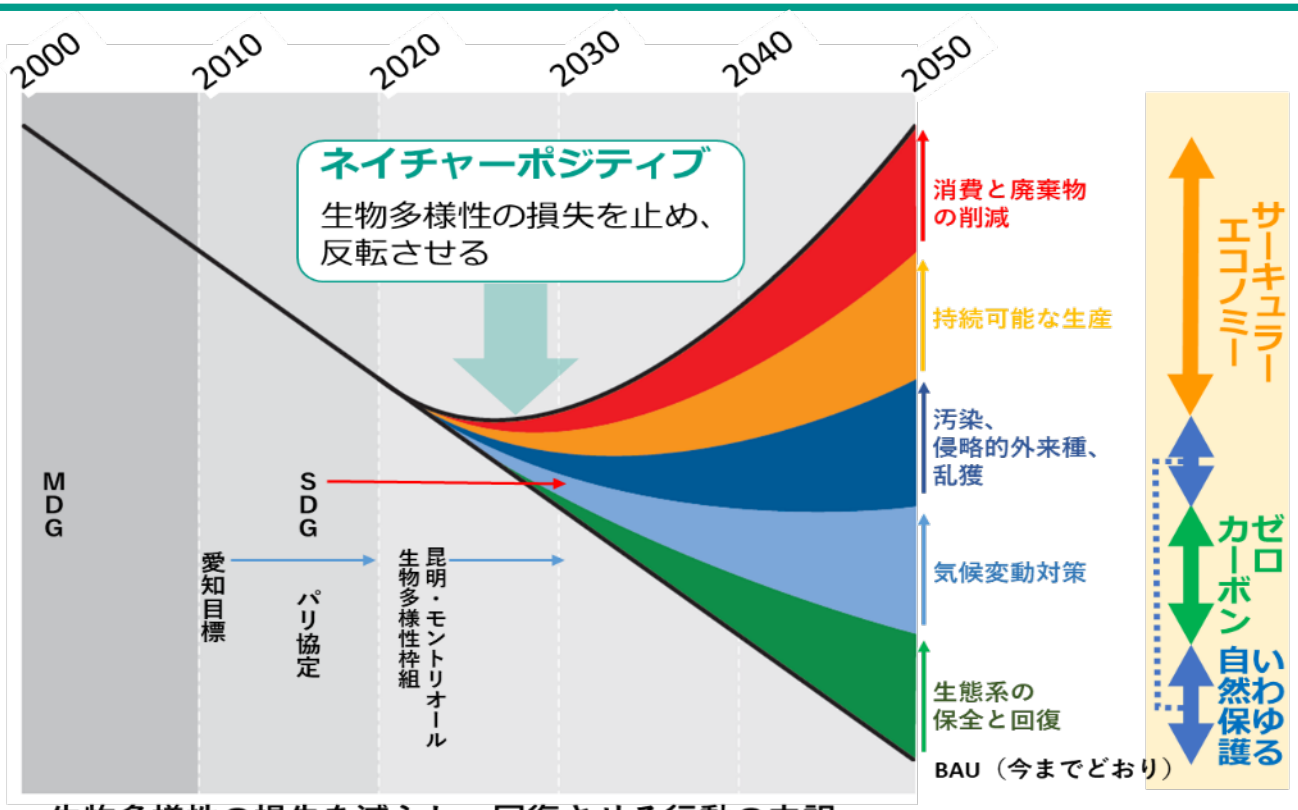
2030年ミッション

自然を回復軌道に乗せるために
生物多様性の損失を止め、反転させる
ための緊急の行動をとる

2050年ビジョン

自然と共生する世界
(a world of living in harmony with nature)

ネイチャーポジティブ（自然再興）の考え方



生物多様性の損失を減らし、回復させる行動の内訳
出典「地球規模生物多様性概況第５版（GBO5）」 を基に作成

30by30目標

サーティー　バイ　サーティー

30 by 30

- **2030年までに陸と海の30%以上を保全する新たな世界目標**

- **2022年の生物多様性条約COP15で採択された昆明・モントリオール生物多様性枠組に向けた議論の中で出てきた**
- **保護地域とOECMを足し合わせたもの**
- **日本は、現状、陸域の21.0%、海域の13.3%をカバー**
- **「土地に紐づいた」「具体的数値」目標**

（健全な生態系の回復、豊かな恵みを取り戻す、気候変動緩和・適応にも貢献）

- **2022年の「30by30ロードマップ」、2023年の生物多様性国家戦略に位置づけ**

保護地域以外の保全方法＝OECM

（「規制の厳しい保護地域を大幅に増やすことは困難」
＋
「身近なところにも生物多様性豊かな場所がある」　）
×
「民間等の力を活用してみんなで守りたい」

＝「保護地域以外で生物多様性保全に資する地域（OECM※）」を活用したい
※Other Effective area-based Conservation Measures

「自然共生サイト」について

■ **「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」**として申請されたものを審査し 保護地域内外問わず **「自然共生サイト」** に認定。

■ 2023年より、環境省の制度として開始。

■ 2025年に、**地域生物多様性増進法が施行**され、法に基づく認定を開始

2020年12月	検討開始
2022年 4月	**30by30ロードマップ**公表
12月	昆明・モントリオール生物多様性枠組（30by30目標含む）採択
2023年 3月	生物多様性国家戦略2023-2030閣議決定
4月	**自然共生サイト制度の開始**
10月	自然共生サイトの初認定
2024年 4月	地域生物多様性増進法成立
2025年 4月	**地域生物多様性増進法施行**
9月	令和７年度第１回認定
12月	令和７年度第２回認定
2026年 3月	令和７年度第３回認定
6月	令和８年度第１回認定

自然共生サイトの認定例（森林）

東急リゾートタウン蓼科
（長野県茅野市・東急不動産株式会社）

- 森林/草原/沢等に希少種含む多様な動植物が確認
- ゲレンデは毎年草刈りされ草原性の動植物が確認。

つなぐ森
（東京都奥多摩町・野村不動産ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式会社）

- 木材の地産地消と森林の機能回復を目指し、令和４年から町有林における森林管理を実施

奥びわ湖・山門水源の森
（滋賀県長浜市・山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会）

- 地域の団体が20年以上保全してきた里山・湿原
- 自治体、地元企業の支援も得ながら活動を継続

田島山業×みんなの森プロジェクト
（大分県日田市・田島山業株式会社）

- 先祖代々継承している森林施業地で、CO2吸収、生物多様性保全、地域貢献等を目的に管理を実施

自然共生サイトの認定例（里地里山）

久保川イーハトーブ世界
（内、知勝院敷地内・自然再生実践地）
（岩手県一関市・久保川ｲｰﾊﾄｰﾌﾞ自然再生協議会）

・落葉広葉樹林や湿地の保全再生、耕作放棄地におけるビオトープの創出、侵略的外来生物の防除等

モビリティリゾートもてぎ
（栃木県茂木町・本田技研工業株式会社）

・里地里山の森林整備、棚田の再生等を実施
・ゲンゴロウ、サシバ等の希少種も確認

下田の杜
（千葉県柏市・NPO法人下田の杜里山ﾌｫｰﾗﾑ）

・周辺が宅地化する中、土地所有者・市・住民等が連携し、里山環境・文化を保全、環境教育の場に

八王子市長池公園
（東京都八王子市・NPO法人ﾌｭｰｼﾞｮﾝ長池）

・多摩丘陵の谷戸地形を都市公園として保全
・地域住民主体で里山を保全し、住民の憩いの場に

自然共生サイトの認定例（都市の緑地）

北海道大学札幌キャンパス
（北海道札幌市・国立大学法人北海道大学）

・**管理方針を策定**し、**ﾃﾞｰﾀ蓄積**、**保全策検討**等を**継続**。
・**461種の在来植物**の他、**多くの希少種**を確認。

大手町タワー
（東京都千代田区・東京建物株式会社）

- 土地の成り立ち等に関する調査を踏まえ、**地域性種苗、在来種を使用した「本物の森」を創出**

富士通沼津工場
（静岡県沼津市・富士通株式会社）

・工場敷地（約53 ha）の**約80%を占める緑地**
・**自然林・茶畑等を維持し、地域イベントも実施**

三井住友海上駿河台ビル及び駿河台新館
（東京都千代田区・三井住友海上火災保険株式会社）

- **1984年**の竣工当時から「周辺環境との調和」を掲げ、**生態系ネットワーク**を意識した在来種中心の屋上緑地等を創出。

自然共生サイトの認定例（沿岸域）

関西国際空港島 人工護岸 藻場サイト
（大阪府泉佐野市及び泉南市・関西ｴｱﾎﾟｰﾄ株式会社）

・空港島護岸に緩傾斜石積みを採用し、**藻場を創出**
・**66種の海藻類、28種の魚介類**を確認

吉崎海岸自然共生サイト
（三重県四日市市・四日市市/楠地区まちづくり検討委員会/NPO法人四日市ウミガメ保存会）

・**アカウミガメの産卵場**であり、**希少動植物**も確認
・**地域住民を中心に保全され、参加者・企業は増加**

海岸生物の王国”相生湾”
（兵庫県・兵庫県相生市、相生湾自然再生学習会議、あいおいカニカニブラザーズ）

・**砂浜や干潟**等に**多種多様な生**物が生息
・**兵庫県、市民団体等が協働**で保全活動を実施

山川の海のゆりかご
（鹿児島県・山川町漁業協同組合）

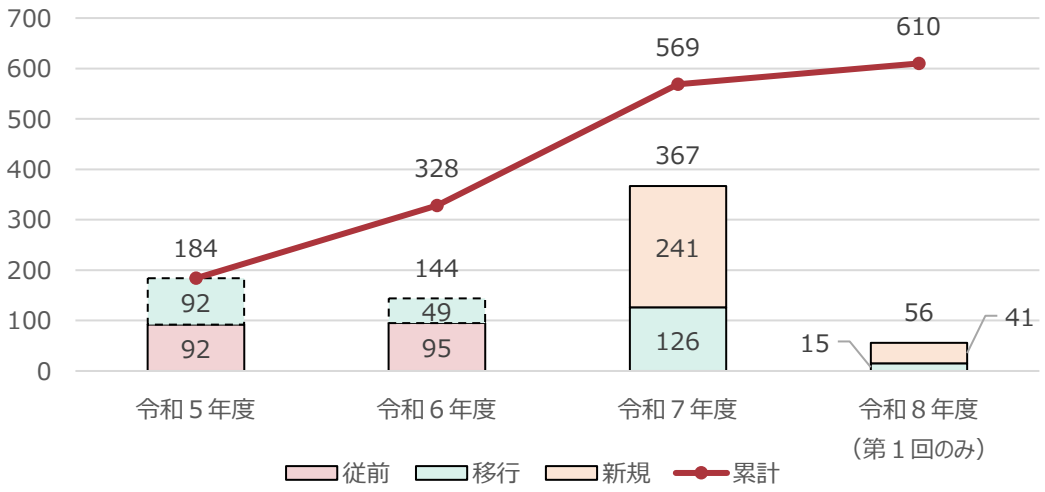
・**地元漁協者が中心**となり、**藻場の生態系を再生**。
・**漁業**と**気候変動対策**、**生物多様性保全**の**統合的向上**

自然共生サイトの認定状況

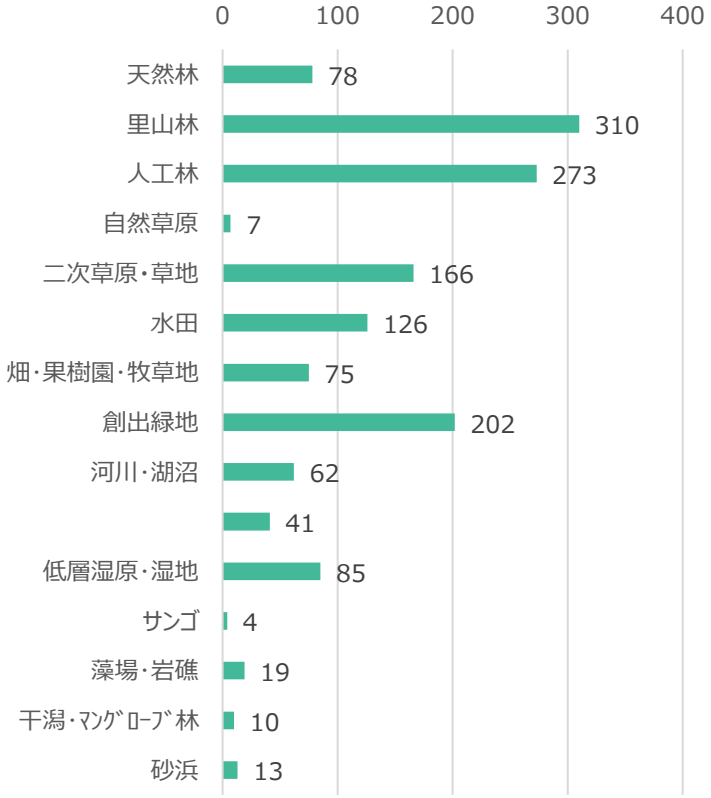
自然共生サイト　610か所　11.9万ha

※令和８年６月末時点

自然共生サイトの認定数

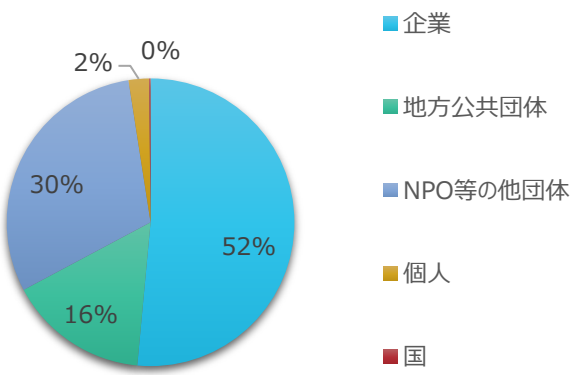


生態系タイプ別



※重複もあるため合計数は自然共生サイト合計と一致しない

申請主体

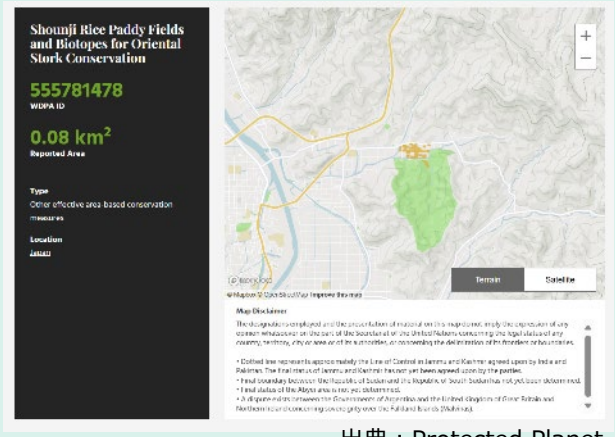


自然共生サイトに認定されるとどうなるの？

環境省

◆30by30目標達成に貢献する

- 国際OECMデータベースに登録。



出典：Protected Planet

◆社会的な発信ができる（主に企業）

- TNFD開示等。

TNFD情報開示
提言やガイダンスに沿って
TNFDレポートの作成

◆活動に対する支援を受けやすくなる

- 国のお墨付きによる民間企業等の支援の促進。
- 支援マッチング、支援証明書の発行。
- 生物多様性保全の交付金や各種モデル事業も。

生物多様性地域戦略等の自治体の計画とも整合するとさらに効果大！

出典：兵庫県ウェブサイト

◆広告効果、ネットワーク形成

- ロゴマークの使用等により、国の認定を受けたことをPR。
- 自然共生サイト間のネットワーク形成も可能。

出典：横枕農園ウェブサイト

自然共生サイト検索ナビ

本日の企画の成功と、
皆様のますますのご発展、ご健勝を心より祈念申し上げます。

「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター
だいだらポジー
DAIDARAPOSIE